



全国学力・学習状況調査の結果から

去る4月17日、6年生児童対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。文部科学省が公表した結果をもとに学校で分析・考察を行った結果をお知らせします。

調査は、国語科・算数科・理科の3教科で実施され、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能に関する問題や課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関する問題が出題されています。また、児童質問紙調査では、学習意欲・学習方法・学習環境・生活の諸側面等に関する調査が行われました。

国語科より



全体的によくできています。特に、「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉える」問題や「書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考える」問題などは、よくできていました。

しかし、以下の問題は不十分な結果となりました。

○目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける。

(【話し合いの様子】の田中さんの発言の空欄に当てはまる内容として適切なものを選択する。)

算数科より

全体的によくできています。特に、「簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶ」問題や「平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図する」問題などは、よくできていました。

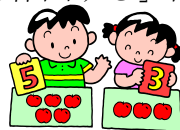
しかし、以下の問題は不十分な結果となりました。

○棒グラフから、項目間の関係を読み取る。

(2022年の全国のプロッコリーの出荷量が2002年の全国のプロッコリーの出荷量の約何倍かを、棒グラフから読み取って選ぶ。)

○数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉える。

(数直線上に示された数を分数で書く。)



理科より



全体的によくできています。特に「発芽するために必要な条件について、実験の条件を制御した解決の方法を発想し、表現する」問題や「水は温まると体積が増えるを根拠に、海面水位の上昇した理由を予想し、表現する」問題などは、よくできていました。

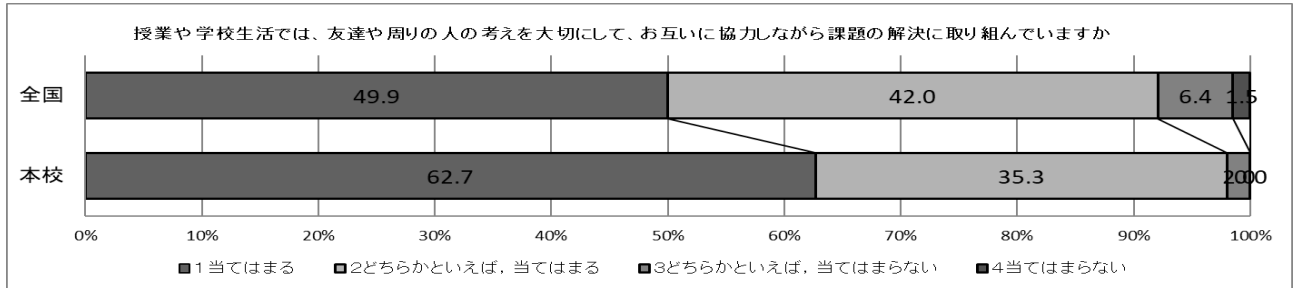
しかし、以下の問題がさらに向上できる余地がある結果となりました。

○水の温まり方について、問題に対するまとめを導きだす際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現する。

(水の温まり方について、問題に対するまとめをいうために、調べる必要があることについて書く。)

互いに協力して
課題解決している

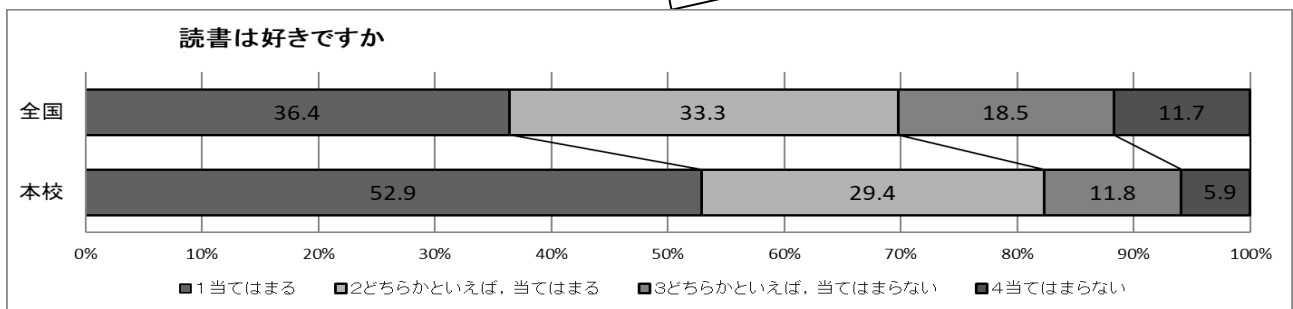
児童質問紙調査から ①



全国と比較して本校児童の方が、周りの人の考えを大切にし、協力して物事に取り組んでいると考えている割合が高くなっています。学校では、共感的な人間関係を育成することを大切にしています。共感的な人間関係とは、互いに人間として無条件に尊重し合う態度で、ありのままに自分を語り、理解し合う人間関係です。互いを尊重し合うことで安心して過ごし、学ぶことのできる学校づくりを引き続き、目指したいと思います。

児童質問紙調査から ②

読書好きが多い！



様々なメディアやツールがあふれている世の中で8割以上の児童が読書は好きと答えていることは、うれしいことです。読書は「心の栄養」ということがあります。読書することで語彙力や集中力がついたり、心を癒してくれたりします。学校でも様々な取組を通して多くの本やさまざまなジャンルの本に出会うようにしています。これからの秋の季節、各ご家庭でも読書の時間を取ってみるのはいかがでしょうか。

保護者の皆様へ

全国調査は、児童の学習状況を知り、児童の可能性を更に伸ばしたり、課題を解決したりしていくためのものです。結果が学力の全てを表しているのではありませんし、順位を競うものでもありません。

出題は、日常生活の場面の中や複数の資料などから、的確に読み取ったり、今までに学んだことを再構成し表現したりすることなどが求められています。本校でも、既習の学習との関連付けを重視するとともに、国語科で培った力を他教科と融合させて学習を充実させるように取り組んでいます。さらに日々の授業と家庭学習との連動を通して、自学自習の習慣化を図ることを目指しています。学力向上に向けてさらに学校全体で組織的・継続的な授業改善に取り組むとともに「心豊かで しなやかに生きる朱二の子」を育てていきたいと思しますので、ご家庭でもご協力の程よろしくお願いします。